

令和 5 年 2 月 2 日

世田谷区立笛原小学校  
校長 後藤 真司 様

世田谷区立笛原小学校学校関係者評価委員会  
委員長 鈴木 聰志

## 令和 4 年度学校関係者評価委員会報告書

### 1 はじめに

令和 4 年度世田谷区立笛原小学校学校関係者評価委員会は、世田谷区教育委員会作成「世田谷区立学校 学校評価システム」に基づき、本校の取組の成果について評価し、ここに報告する。

本報告書作成に用いた資料は次の通りである。

- ・ 児童アンケート（対象は 5 ・ 6 年生）
- ・ 保護者アンケート
- ・ 地域の方々アンケート
- ・ 学校評価（自己評価）
- ・ 教職員との意見交換
- ・ 学校公開期間中の授業見学
- ・ 学校行事の見学
- ・ 委員が学校を訪問した際の非公式な教員との会話と授業見学

児童アンケートの回答率が 95% で昨年度と同じだったのに対し、保護者アンケートの回答率は 36%、地域の方々アンケートの回答率は 48% と昨年度より大きく低下した。これは保護者アンケートがウェブを使った調査方法に、地域の方々アンケートがウェブと紙を併用した調査方法に変わったためと考えられる。今年度の保護者アンケートの調査項目のうちのいくつかの結果は昨年度より厳しいものになったが、それは調査に応じた保護者が本校の教育に高い関心をもっている方々に限られたことに一因があったからであろうと思われる。以下の調査結果においてはその点に気を付けて読んでいただきたい。

### 2 重点目標について

今年度の初めに校長が設定した令和 4 年度の重点目標は以下の 3 つである。

- 主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成
- 多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成
- 自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成

学校関係者評価委員会は重点目標がどの程度達成できたかを確かめるため、児童アンケ

ートと保護者アンケートと地域の方々アンケートに独自の評価項目を作成して調査を行った。その結果は表1の通りである。数値は「とても思う」と「思う」の合計(%)である(以下「肯定的回答」)。

重点目標「主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成」に関する項目では、児童の8割が肯定的回答をしたが、保護者の肯定的回答は約5割だった。

重点目標「多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成」に関する項目では児童の肯定的回答は約9割だったが、保護者の肯定的回答は約5割だった。

重点目標「自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成」に関する項目では、児童と地域の方の約9割が肯定的回答をしたが、保護者で肯定的回答をしたのは約7割5分だった。

昨年度の結果と比較すると、3つの重点項目はいずれも児童の肯定的回答は増加したのに対し、保護者の肯定的回答は1割前後低下した。

児童では重点項目は昨年同様いずれも概ね達成されたと判断してよいだろう。しかし保護者の評価では重点目標が十分達成されたとは言い難い。

表1 3つの重点目標に関する評価項目の結果

評価項目	「とても思う」と 「思う」の合計(%)
<b>重点目標：主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成</b> 私は、よく考えて判断し、表現することができる。(児童アンケート) 本校の子どもたちは、よく考えて判断し、表現することができる。(保護者アンケート)	82.5 53.1
<b>重点目標：多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成</b> 私は、自分のよさや友達のよさを見付けることができる。(児童アンケート) 本校には、多様性を認め合う雰囲気がある。(保護者アンケート)	86.8 52.0
<b>重点目標：自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成</b> 私は、手洗いやマスクの着用など健康に気を付けている。(児童アンケート) 本校の子どもたちは、感染症の予防等健康に気を付けている。(保護者アンケート) 本校の子どもたちは、感染症の予防など、健康に関わる取り組みをしている。(地域アンケート)	92.1 75.4 92.1

### 3 独自の取組について

ここ数年にわたって学校関係者評価委員会は笹原小学校独自の取組を評価の対象としている。今年度も言語活動と笹の子班活動と新しい教育活動を取り上げることとし、児童アンケート、保護者アンケートの独自項目を作成した。その結果は表2の通りである。数値は肯定的回答の%である。

「言語活動」では児童・保護者ともに肯定的回答が約7割だった。  
「笹の子班活動」では児童では肯定的回答が約9割、保護者では約8割だった。  
「新しい教育活動」では保護者の肯定的回答が約6割だった。  
児童の肯定的回答は昨年度より増加したが、保護者の肯定的回答は昨年度より低下した。  
「笹の子班活動」については児童、保護者ともに評価が高い。今年度も新型コロナウィルス感染防止のため教育活動に制約のある中で、活発な活動が行われたことは高く評価できる。

表2 笹原小学校独自の取組に関する評価項目の結果

評価項目	「とても思う」と 「思う」の合計(%)
<b>言語活動</b> 私は、朝読書など読書活動を楽しんでいる。(児童アンケート)	76.5
子どもたちは、読書活動を楽しみ、読書に親しんでいる。(保護者アンケート)	67.4
<b>笹の子班活動</b> 笹の子班活動を通して、上学年や下学年の子どもたちと仲よく活動することができている。(児童アンケート)	87.4
笹の子班活動は、子どもたちにとって有意義な活動であると思う。(保護者アンケート)	78.9
<b>新しい教育活動</b> 本校は、英語や外国語、ICTの活用など新しい教育活動に取り組んでいる。(保護者アンケート)	58.9

#### 4 経営の重点について

今年度の経営の重点の中から、「キャリア・未来デザイン教育」の推進を取り上げた。世田谷区教育委員会は「キャリア・未来デザイン教育」を提唱している。それは、「急激に変化する社会の中で、幼児・児童・生徒一人一人が社会の担い手として自らが課題に向き合い判断して行動し、それぞれが思い描く未来を実現できる人材を育成する」(世田谷区ホームページ)ための区独自の教育施策である。本校はこの教育の推進のため、「さくらの学び舎」の桜丘幼稚園・桜丘小学校・桜丘中学校との連携を深めることを今年度の経営の重点の1つとした。

表3は「キャリア・未来デザイン教育」に関する調査項目とその肯定的回答である。保護者アンケートの最後のものが独自項目で、それ以外は区作成の項目である。

これらの調査項目では学年差が大きかった。児童アンケートの「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。」の肯定的回答は5年生が60.0%に対して6年生が69.8%、「区立中学校に関する情報が提供されている。」の肯定的回答は5年生が42.5%に対して6

年生が 80.2%、「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。」の肯定的回答は 5 年生が 58.8%に対して 6 年生が 84.8%だった。保護者の回答も、5 年生よりも 6 年生の方が肯定的回答が多かった。今年度 6 年生は桜丘中学校の先生方による授業を体験した。このような体験の違いが 5・6 年生の回答の違いをもたらしたと思われる。

表 3 キャリア・未来デザイン教育に関するアンケートの評価項目の結果

評価項目	「とても思う」と 「思う」の合計(%)
自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。(児童アンケート)	65.1
区立中学校に関する情報が提供されている。(児童アンケート)	62.1
学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。(児童アンケート)	72.3
本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。(保護者アンケート)	34.3
「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。(保護者アンケート)	60.6
本校は、学校外活動での「キャリア・未来デザイン教育」の推進をしている。(保護者アンケート)。	34.3

## 5 気になる学年

保護者アンケートの中で 4 年生の保護者の回答は他の学年と異なる結果となった。いくつかの項目で肯定的回答が少なかった（表 4）。本校の子どもたちがルールを理解しているように見える保護者の割合が 4 年生では他の学年より少ない。そして保護者の多くは子どもたちがルールを理解しないのは教員の指導のためであると考えて、本校の教育活動に満足せず、本校の教職員が協力して教育活動に取り組んでいるように思えないようだ。

この結果について教職員と意見交換したところ、4 年生の教室が落ち着いていなかった時期があったのは事実であった。その後子どもたちと担任との信頼関係が回復し始めている。このことが保護者アンケート実施の頃には保護者に伝わっていなかったようである。

表 4 4 年生の保護者の回答で肯定的回答が少なかった項目

評価項目	「とても思う」と 「思う」の合計(%)
本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	29.0
本校は、教員が指導した過ごし方やルールについて子どもが理解している。	35.5
本校の教育活動に満足している。	38.8
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	35.5

## 6 総合所見

本校の教育活動は概ね良好である。

その上で2つ課題を指摘したい。

1つ目は昨年度の報告書でふれたが、本校のよさが保護者と地域の方々に正確に伝わっていないことである。今年度の調査ではこれについての改善が数値として出てこなかったものの、今年度は昨年度よりも保護者が学校に足を運ぶ機会が増えたため、保護者と学校のコミュニケーションが増えている。このためこの課題は徐々に改善されるものと期待している。

2つ目は教職員をサポートするスタッフの充実である。すでに教室で学習面と生活面をサポートする支援員や職員室で教職員の業務をサポートするスクール・サポート・スタッフが採用されていて、今年度は学校生活サポートーの配置が増えた。多様な個性のある児童が増える傾向にあるため教職員の負担は増える一方なので、教職員をサポートするスタッフのさらなる充実が望まれる。

世田谷区立笛原小学校学校関係者評価委員会委員

小澤利喜男 菊池実香 黒河内倫子

鈴木聰志 棚網純子 外山悦朗

(五十音順)

事務局 小林保子 境野孝徳 大橋佑基

<参考資料>

学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

世田谷区教育委員会の方針に基づき、今年度からは、学校の負担軽減や保護者からの要望等を受けてアンケートを電子化することとなりました。

児童・保護者は、ウェブアンケート（URL または 2 次元バーコード）で回答しました。

地域は、ウェブアンケート（URL または 2 次元バーコード）と紙アンケートを選択する形でした。

\* 5・6年児童アンケート実施………11月 2日（水）～10日（木）

\*保護者・地域アンケート回答期間…11月 2日（水）～13日（日）

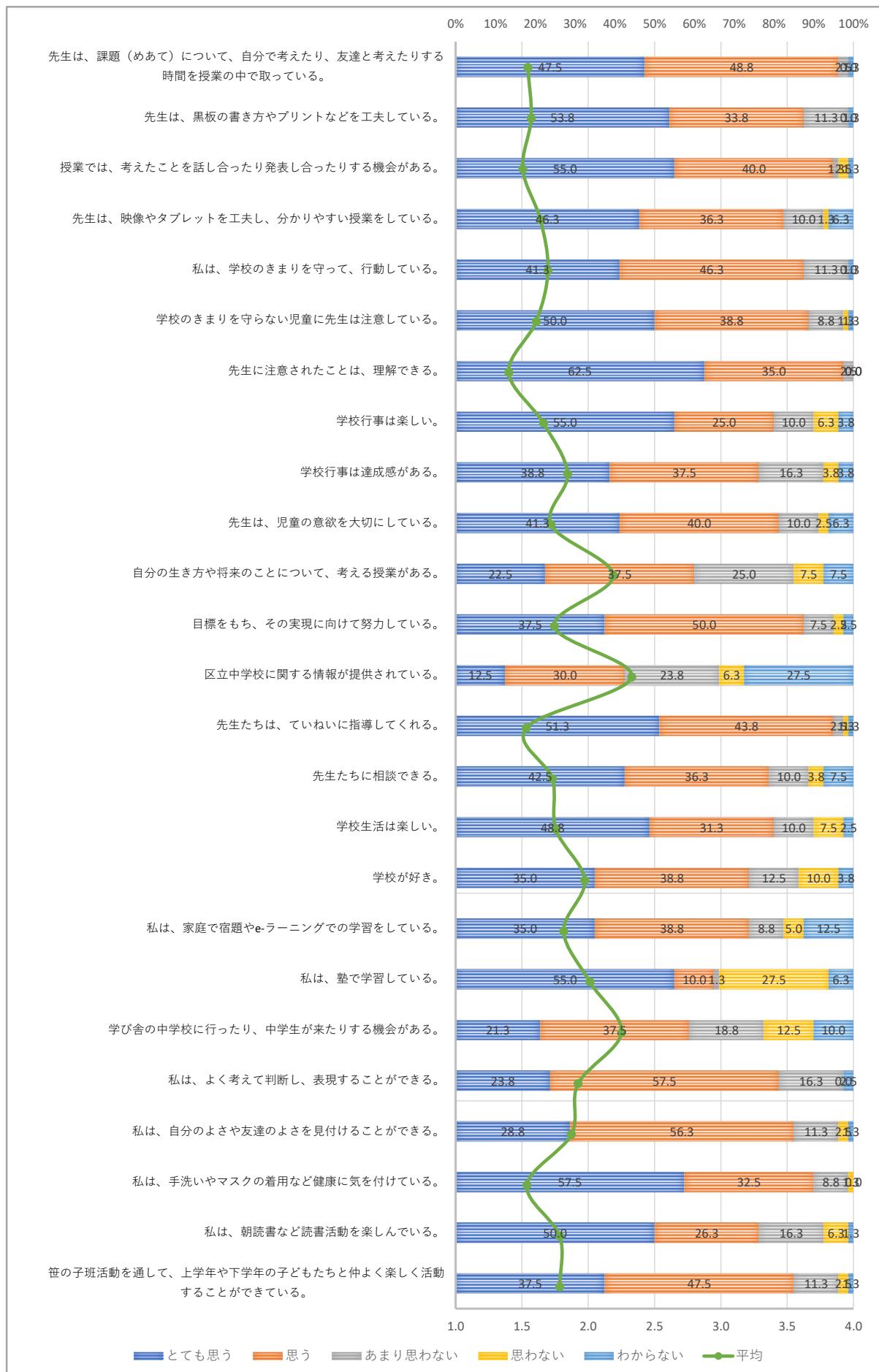
回収率については、下記のとおりです。

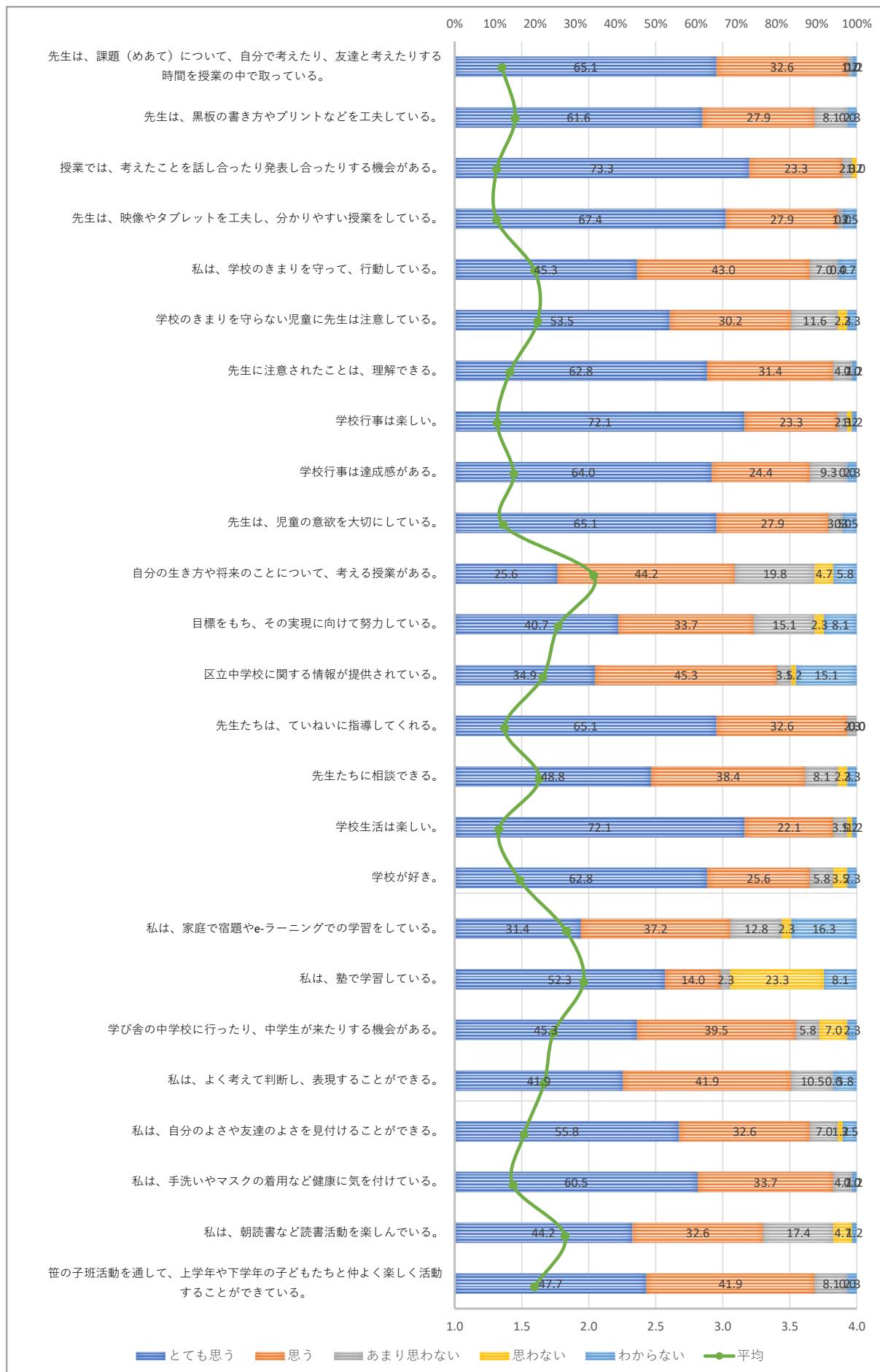
今年度も貴重な回答をお寄せいただきました。

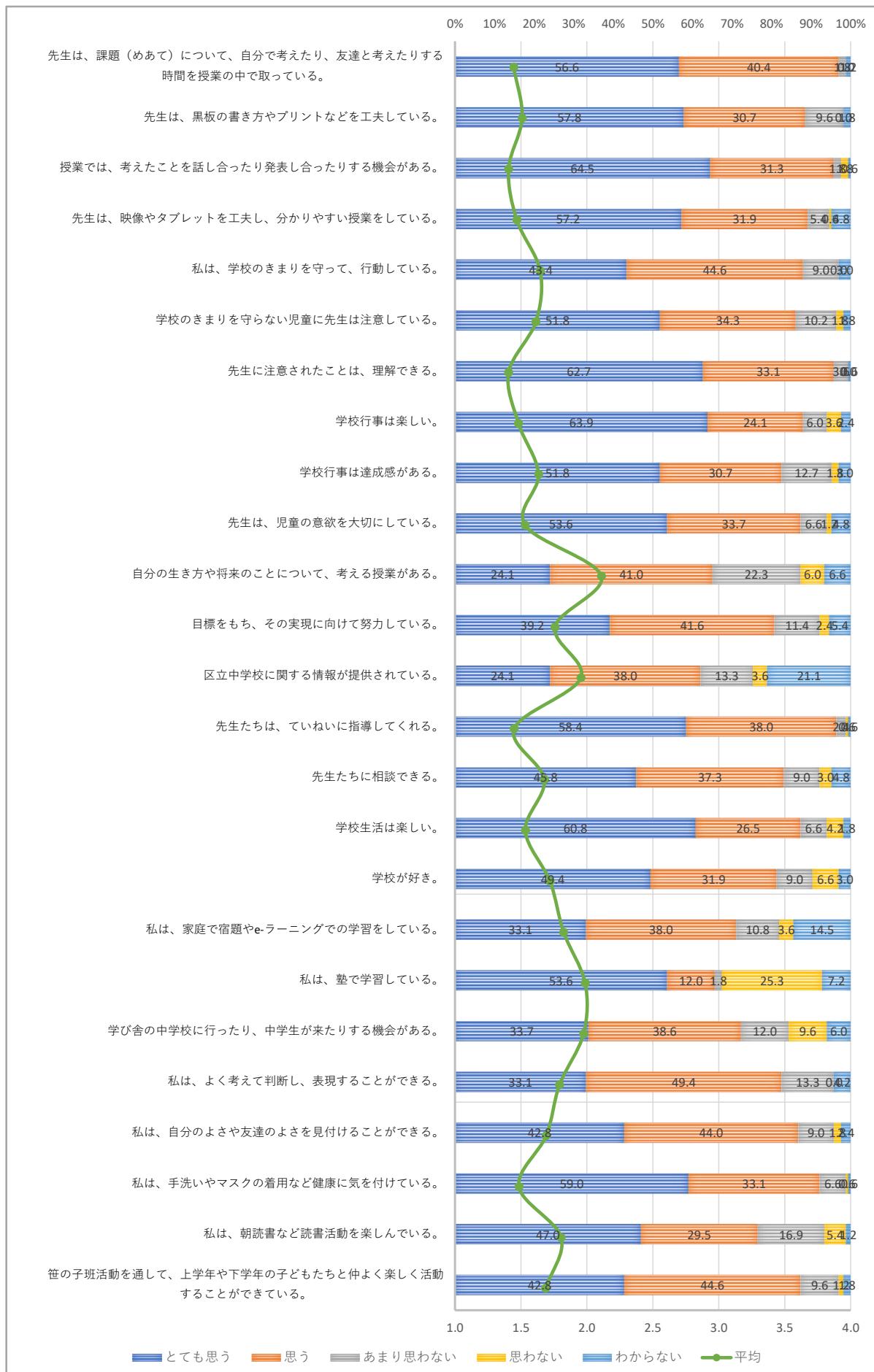
委員一同、感謝申し上げます。

学校評価アンケート回答率

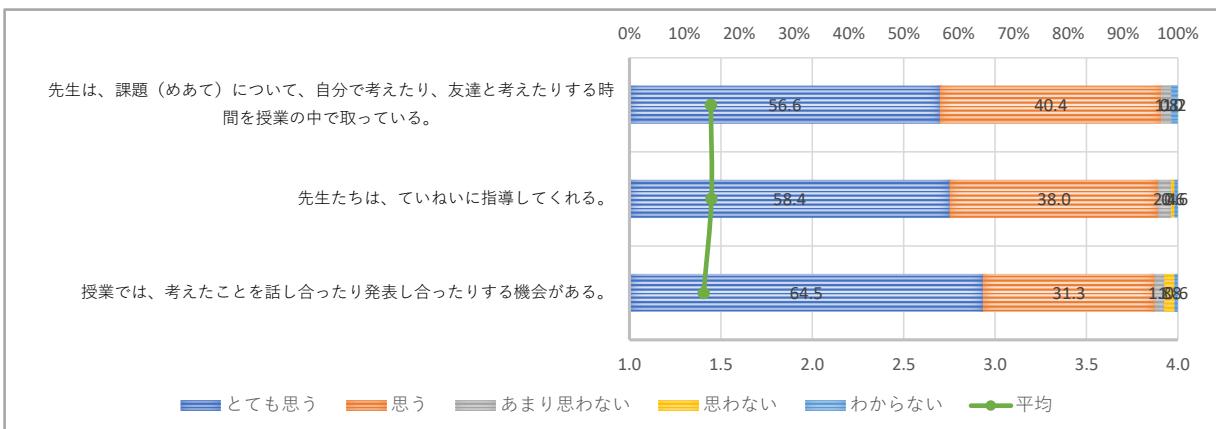
令和3年度				令和4年度			
	在籍数(人)	回答数(件)	回答率(%)		在籍数(人)	回答数(件)	回答率(%)
5年児童	91	89	97	5年児童	82	80	97
6年児童	63	58	92	6年児童	92	86	93
5・6年児童	154	147	95	5・6年児童	174	166	95
1年保護者	69	61	88	1年保護者	79	19	24
2年保護者	84	77	91	2年保護者	68	24	35
3年保護者	75	65	86	3年保護者	84	36	42
4年保護者	87	75	86	4年保護者	75	31	41
5年保護者	91	82	90	5年保護者	82	33	40
6年保護者	63	48	76	6年保護者	92	32	34
保護者全体	469	408	86	保護者全体	480	175	36
地域	51	41	80	地域	78	38	48



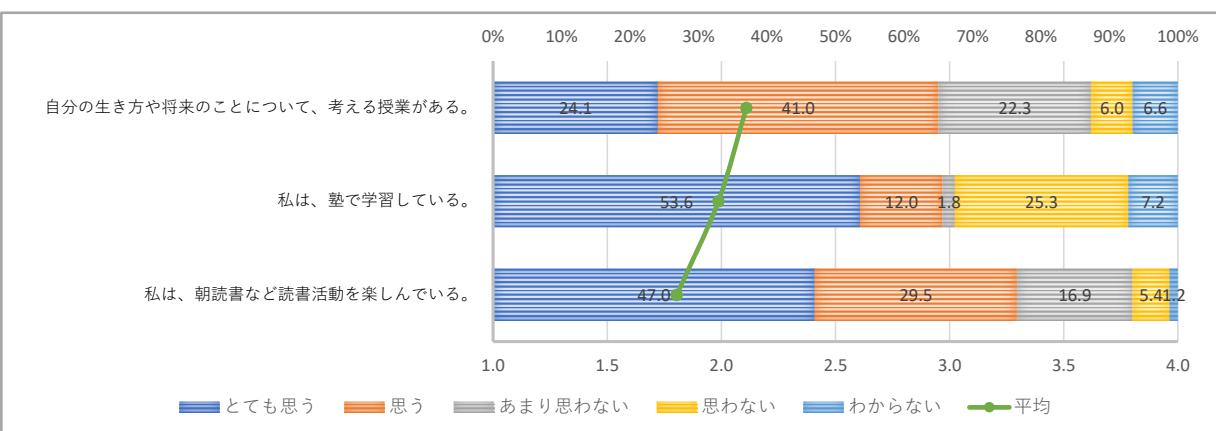




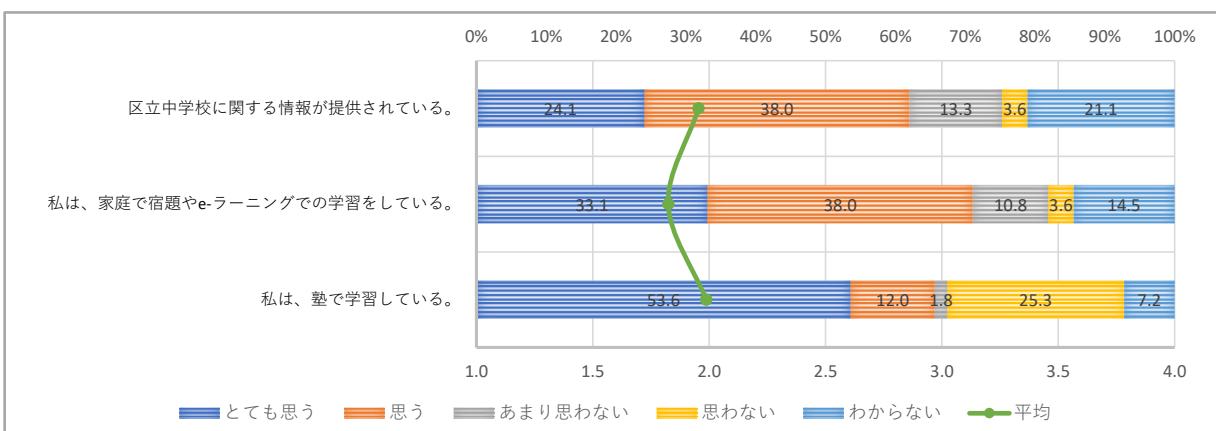
## 肯定的回答（「とても思う」「思う」の多かった項目）

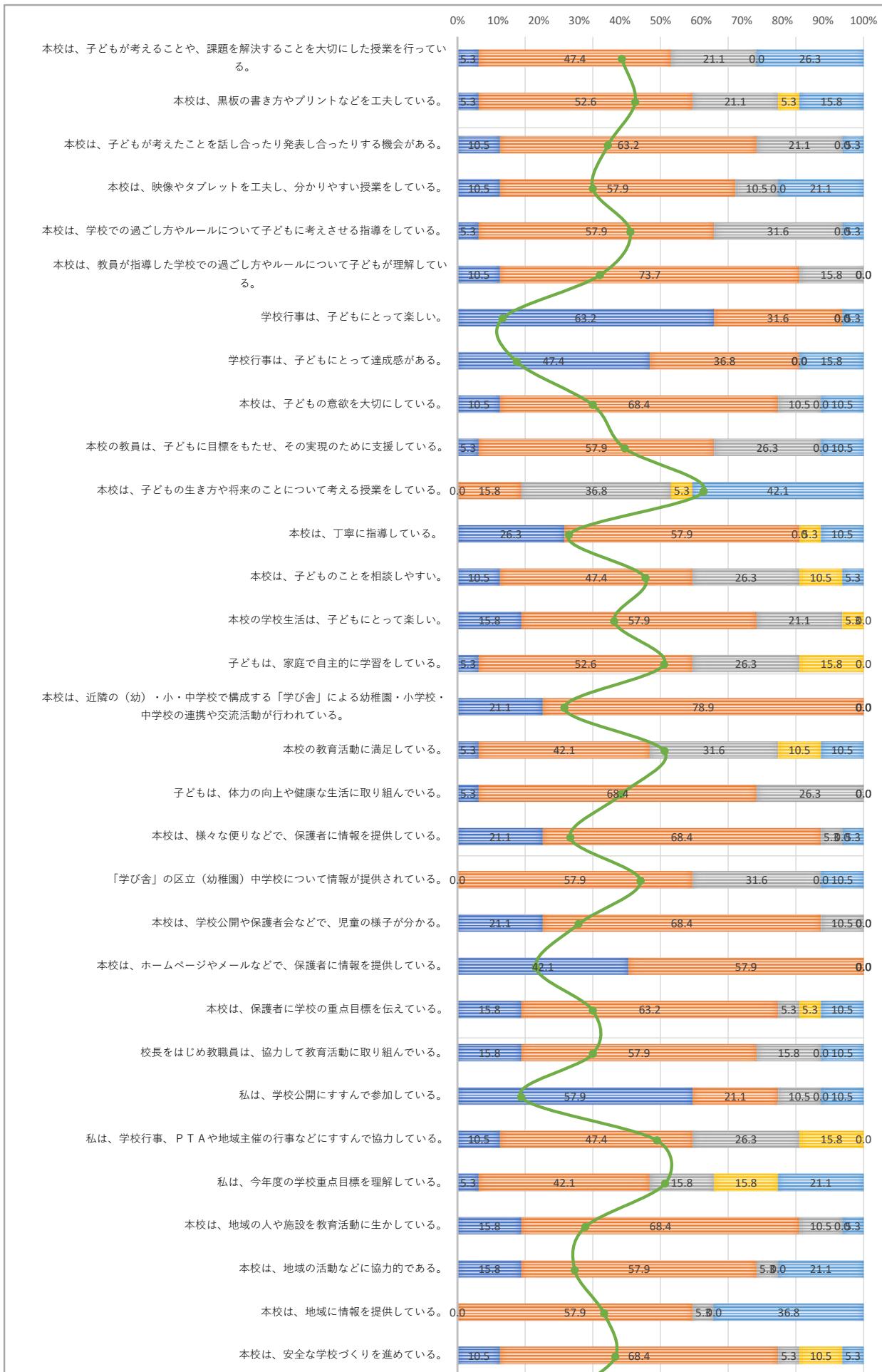


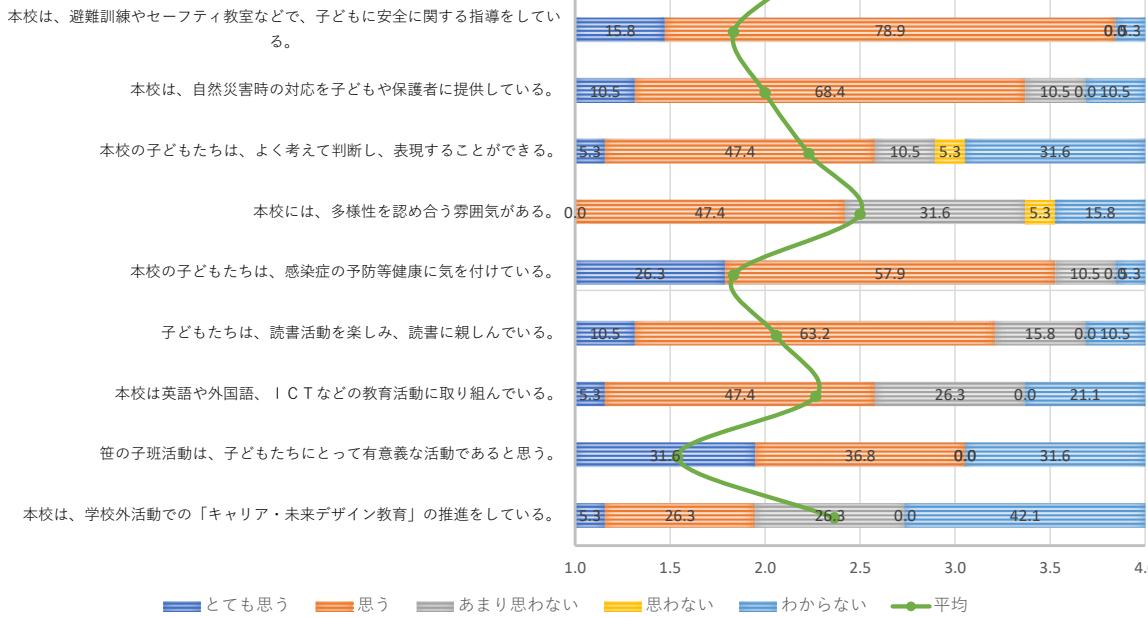
## 否定的回答（「あまり思わない」「思わない」の多かった項目）

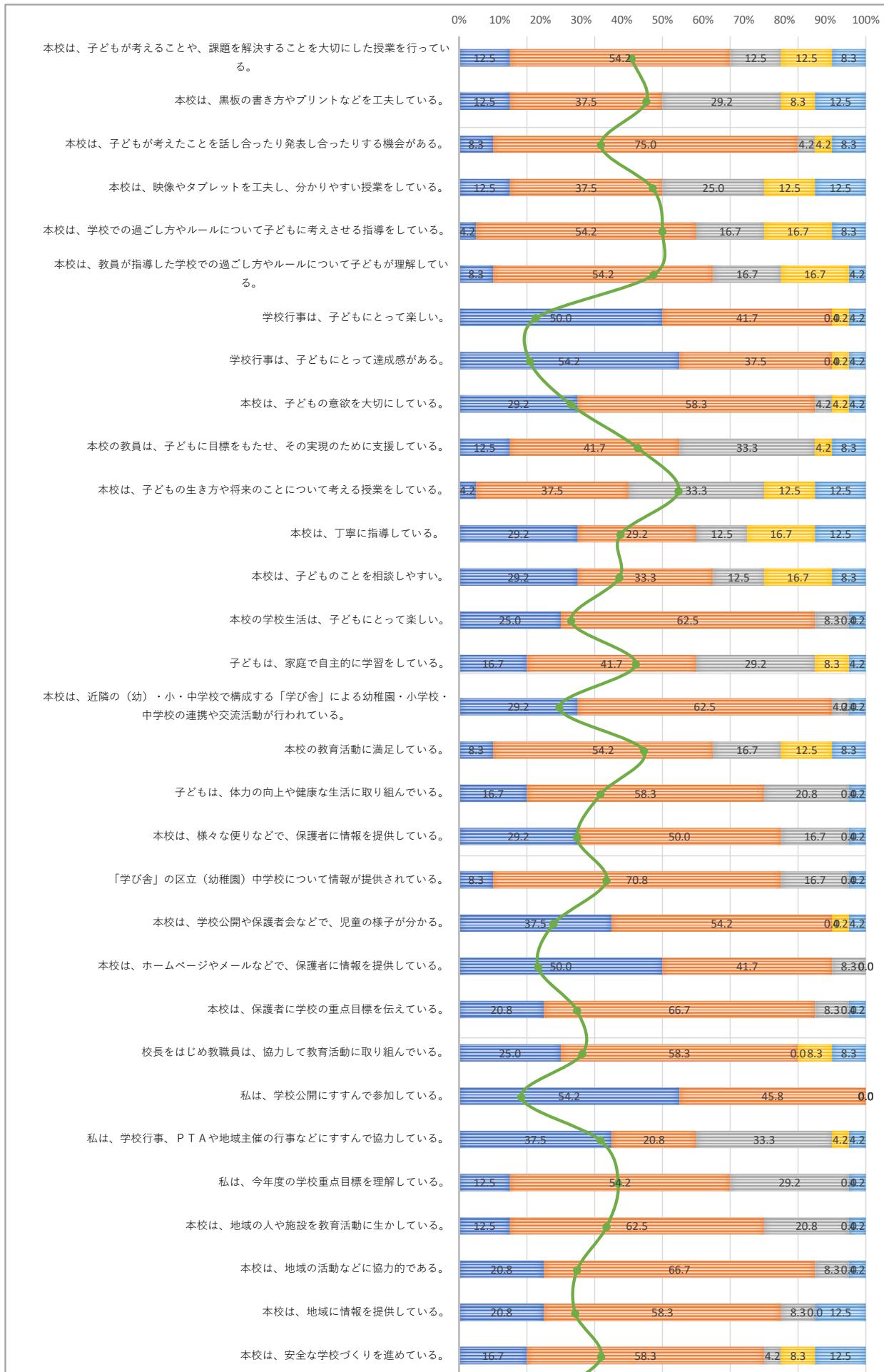


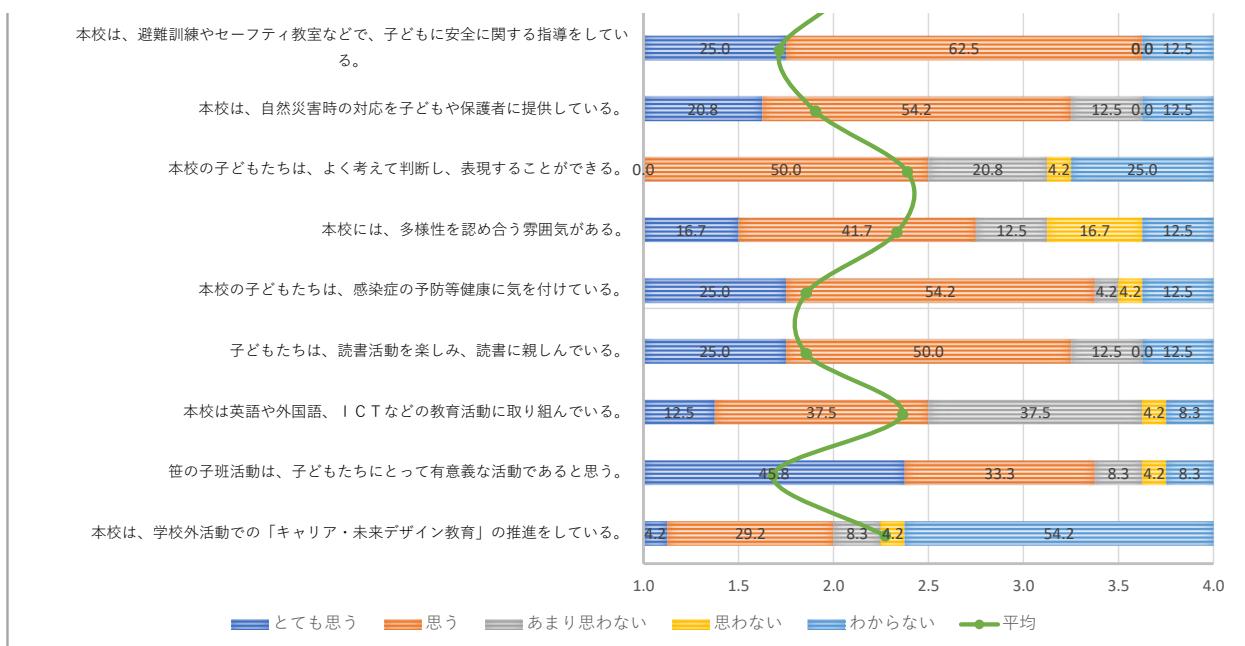
## 「わからない」という回答が多かった項目

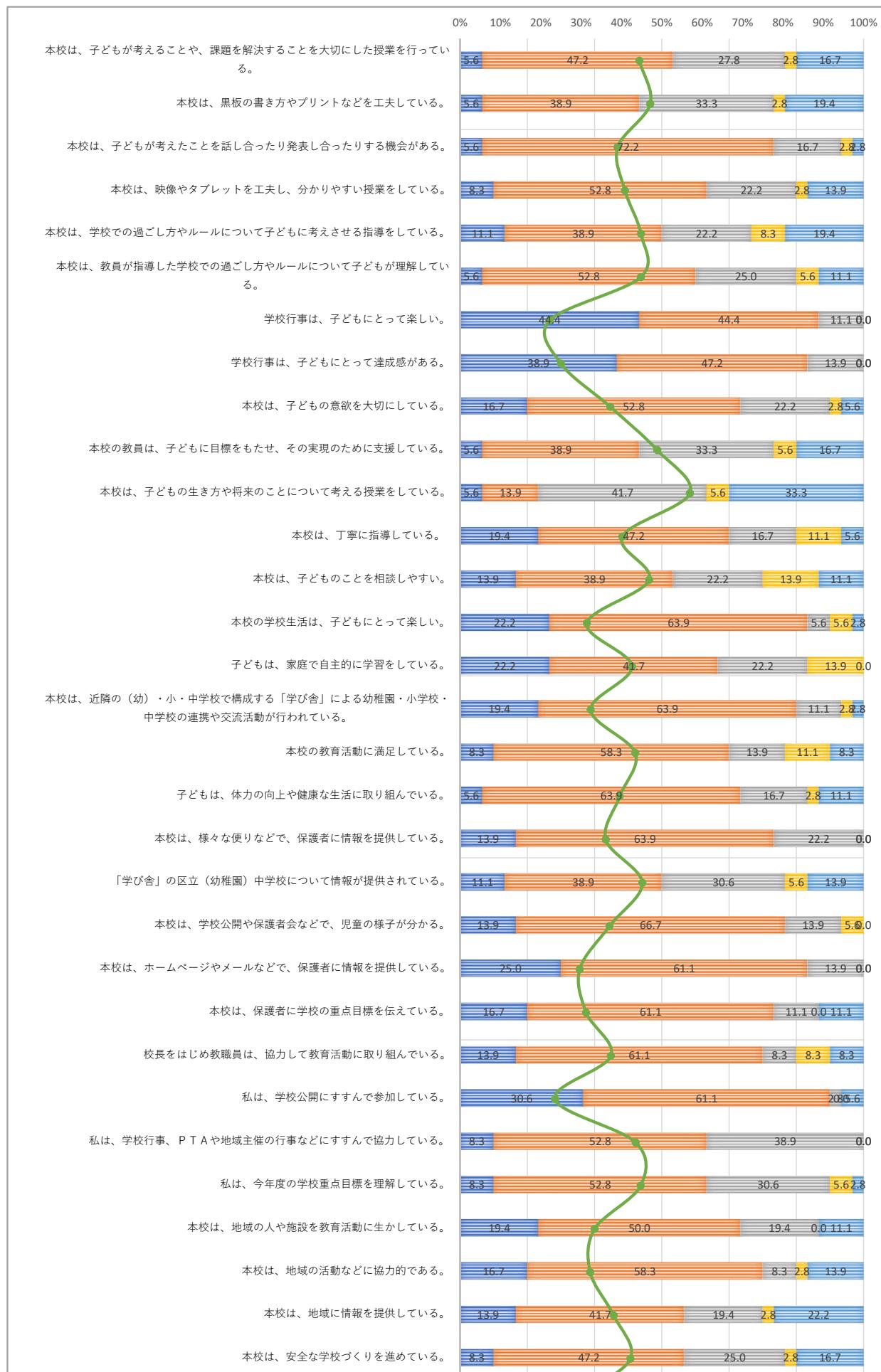


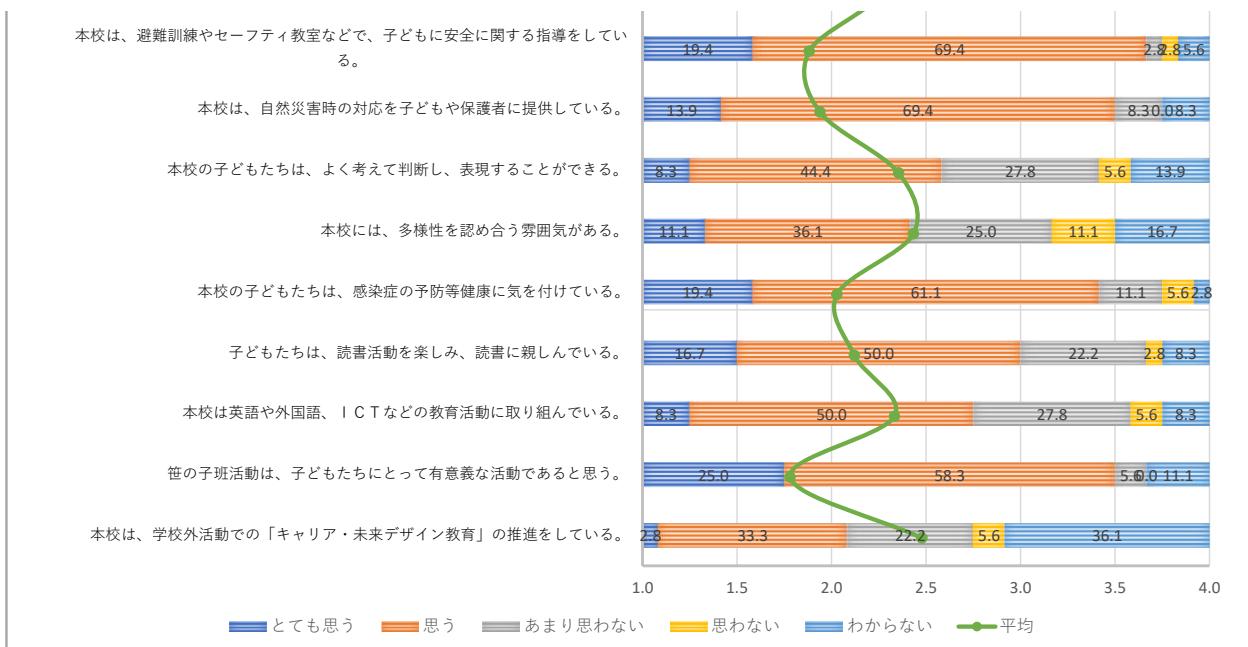


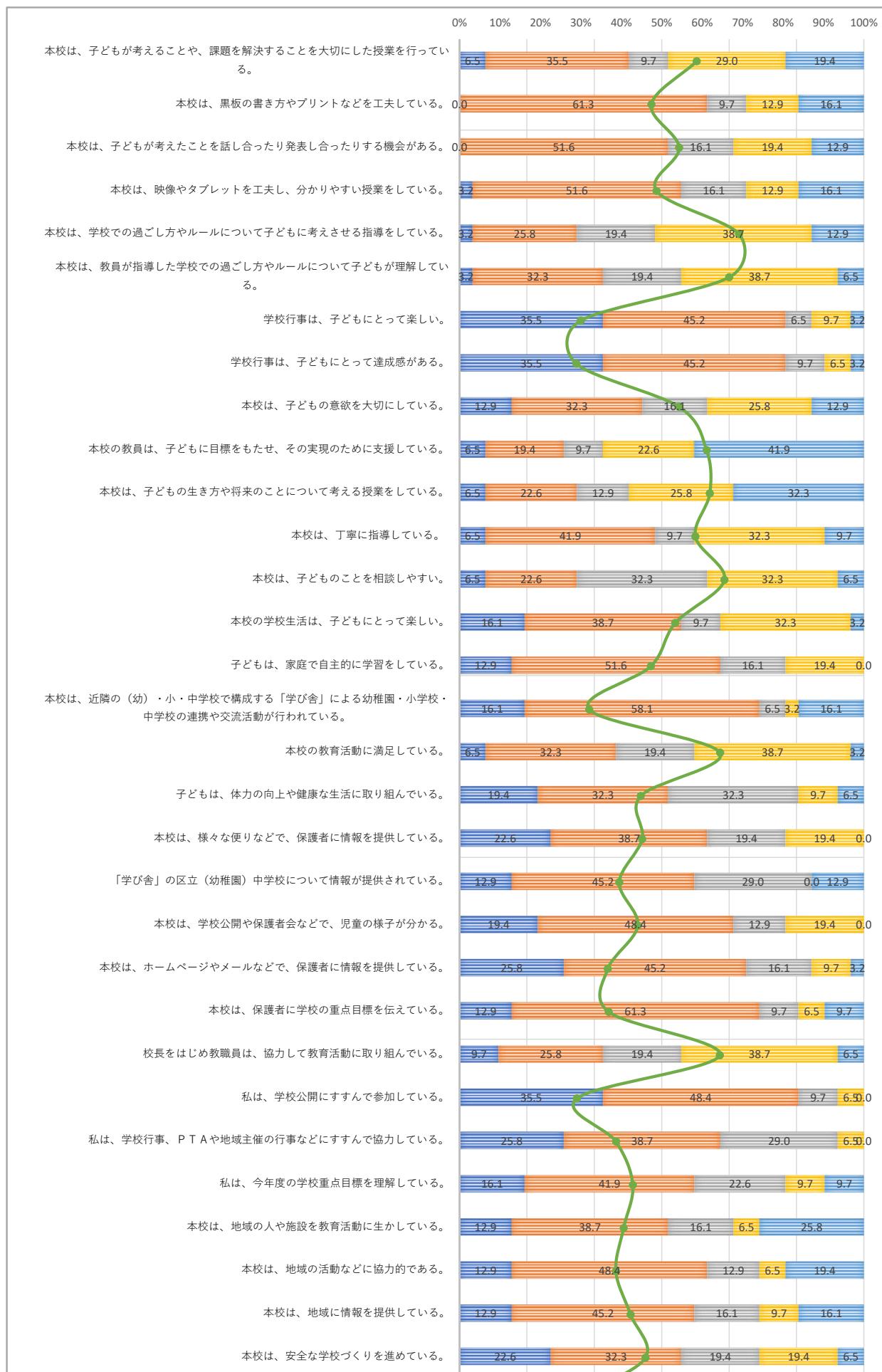


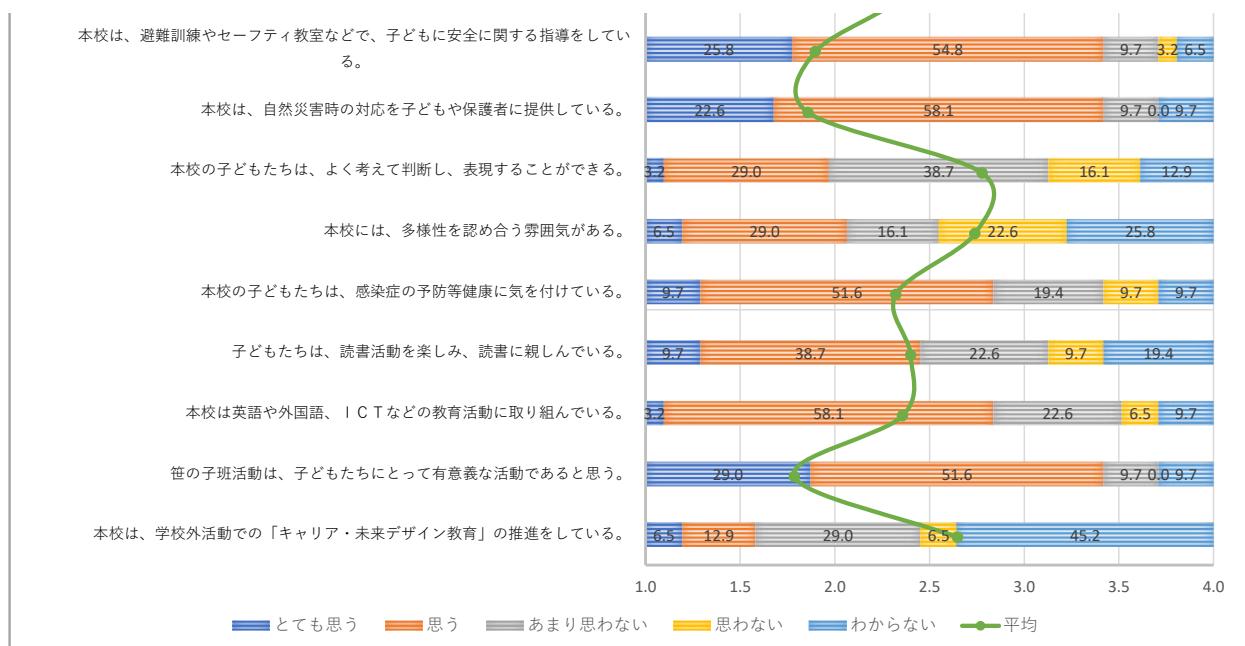


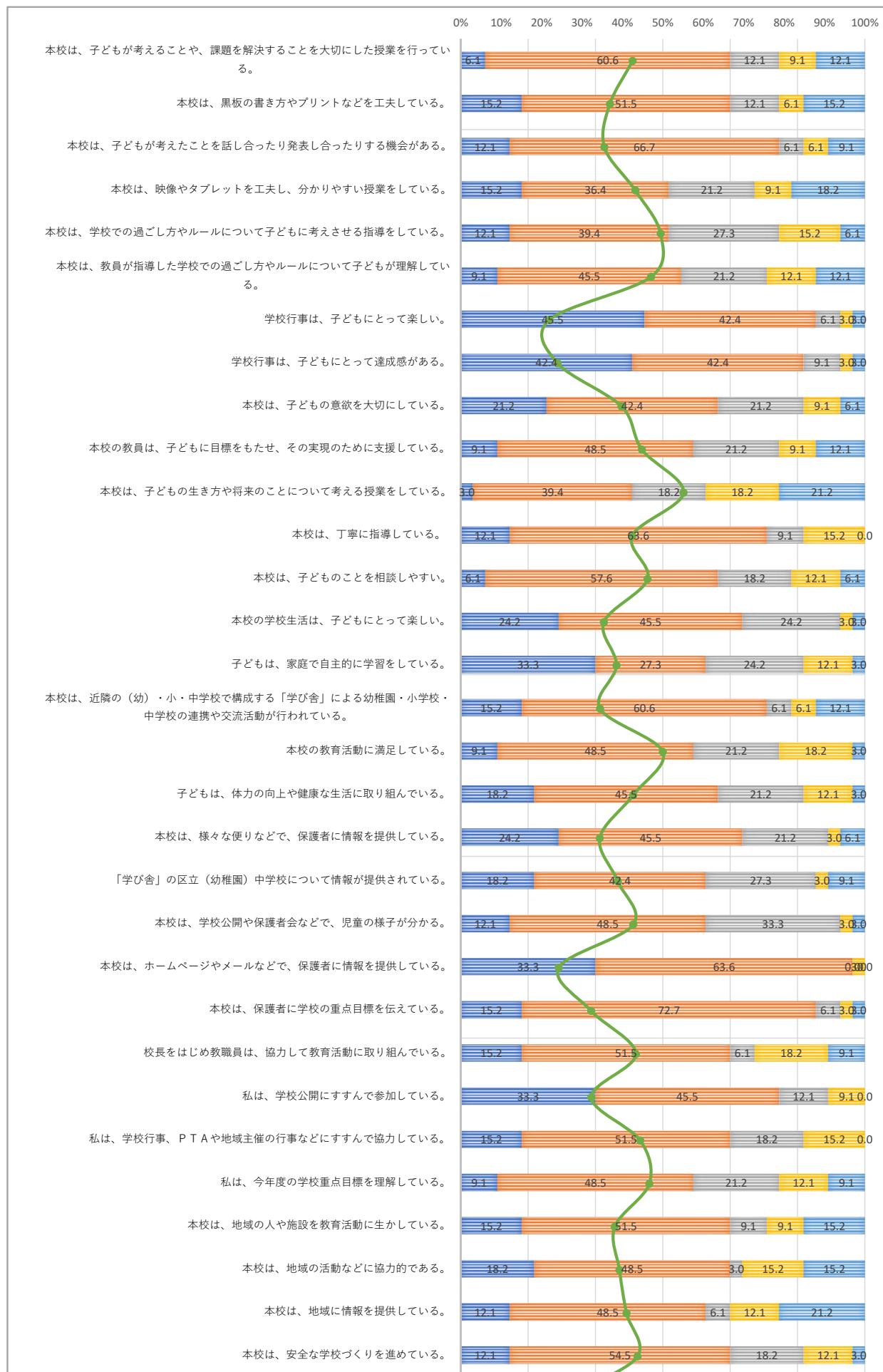


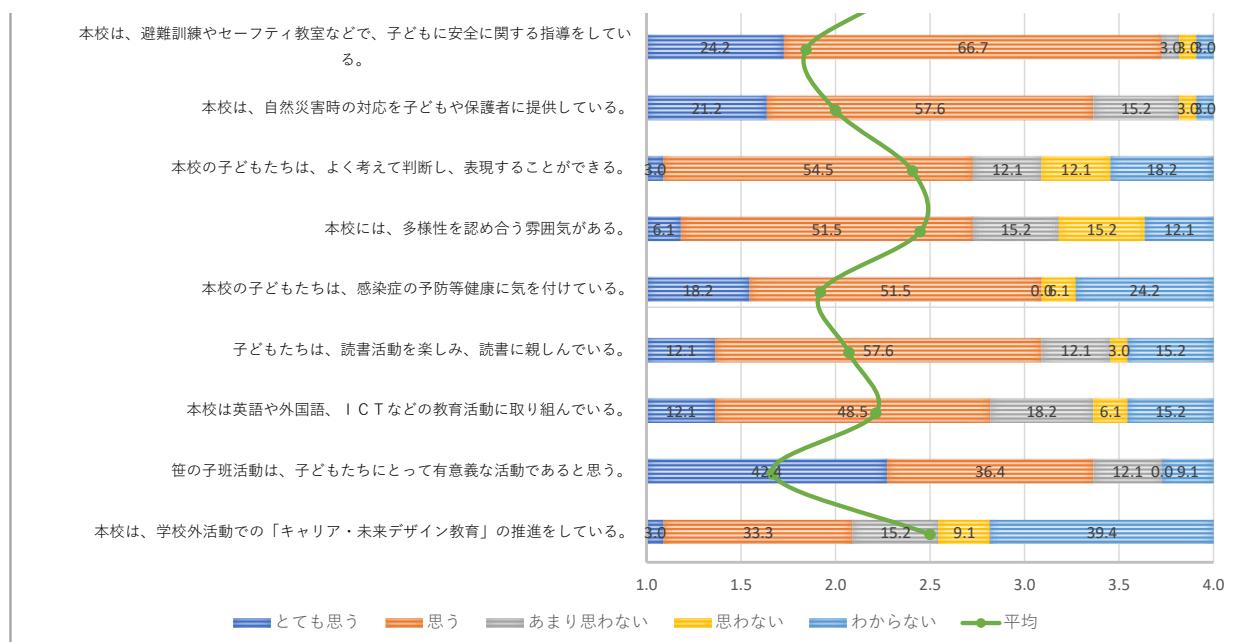


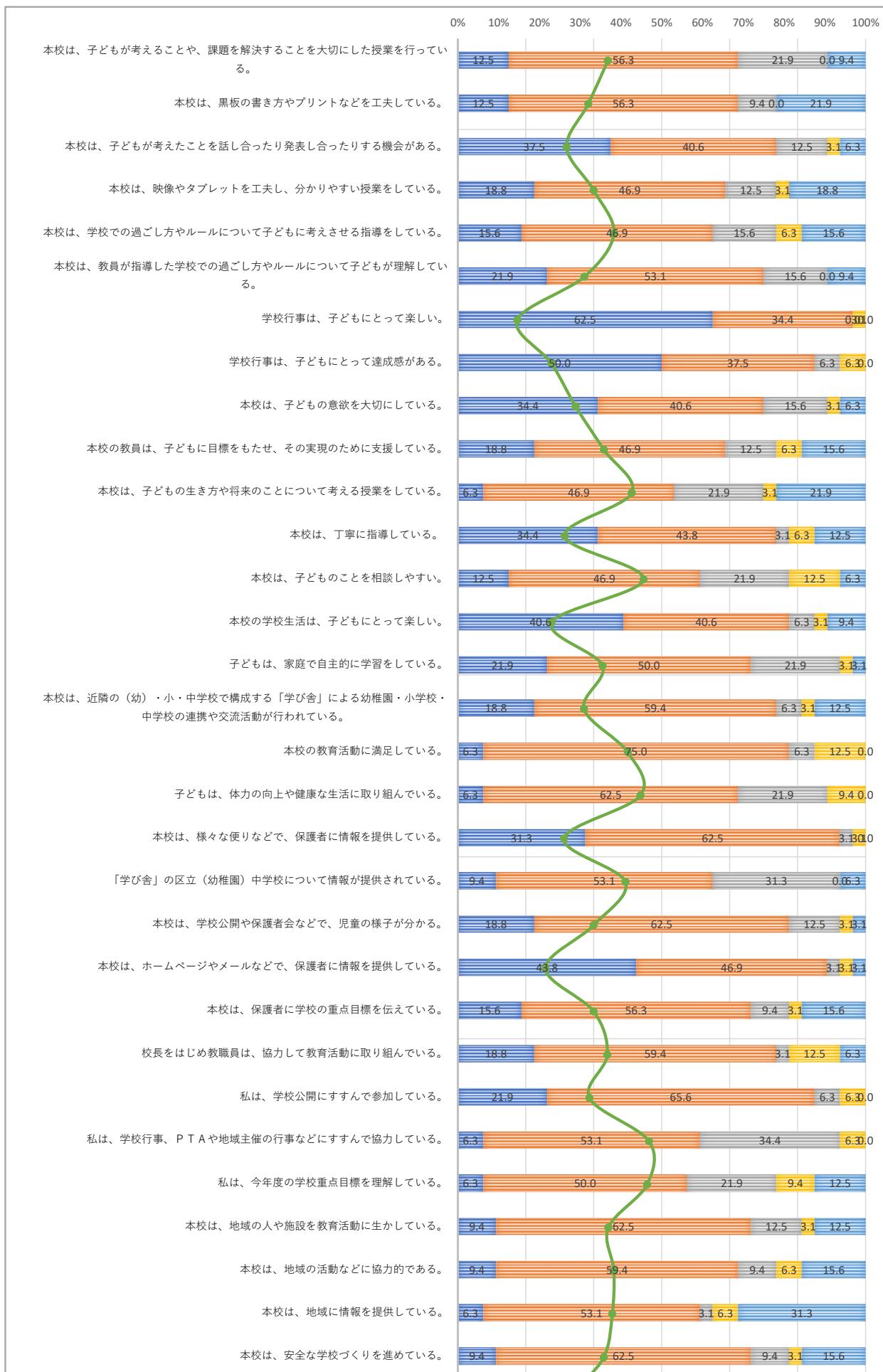


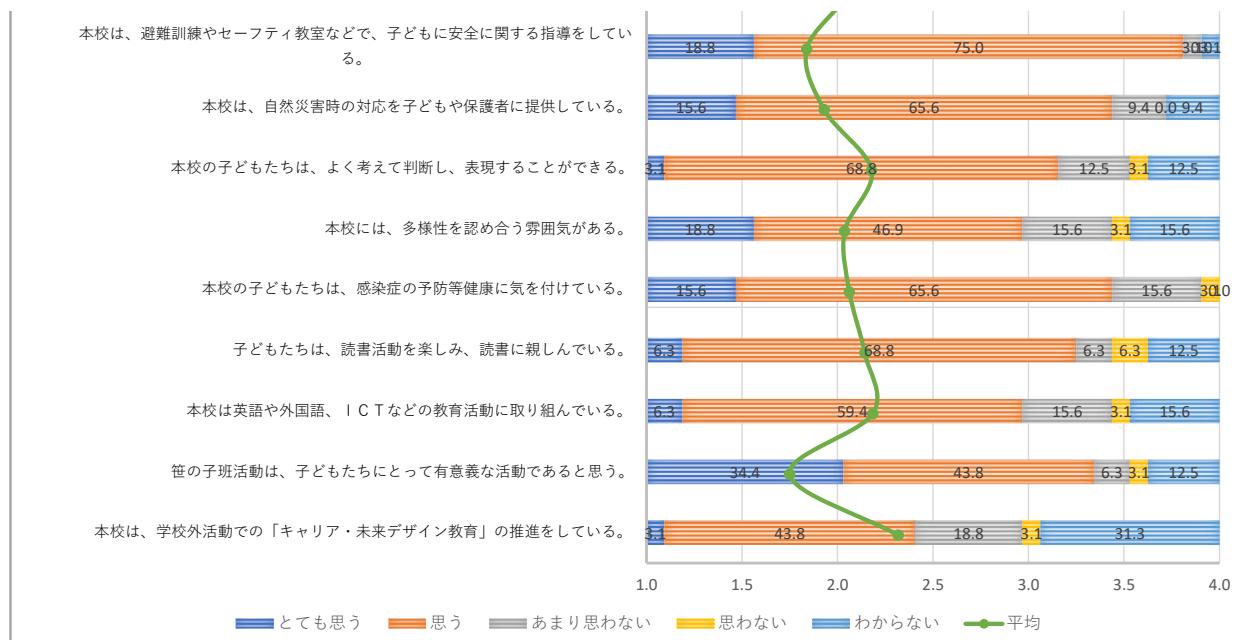


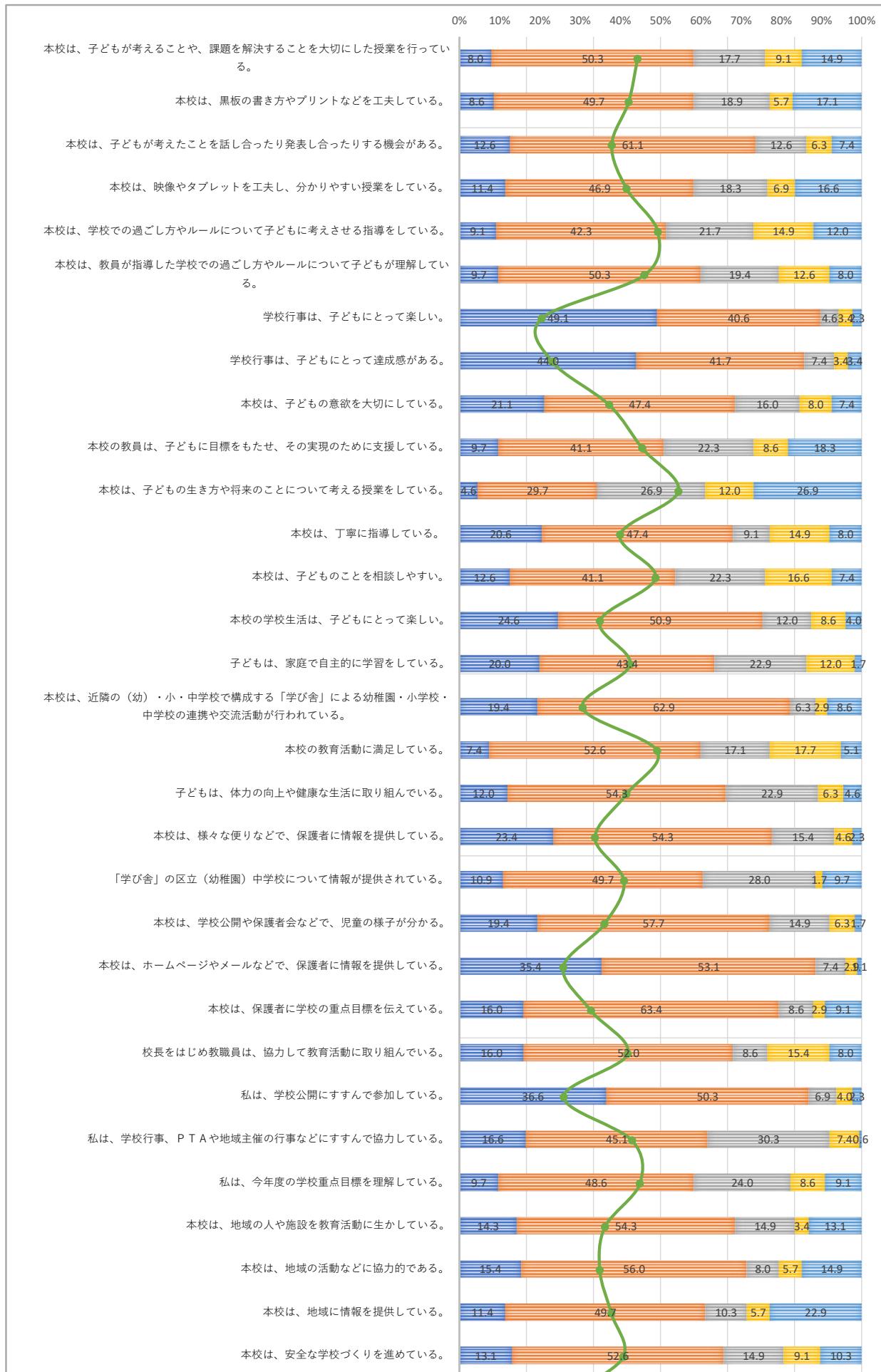












本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。

本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。

本校の子どもたちは、よく考えて判断し、表現することができる。

本校には、多様性を認め合う雰囲気がある。

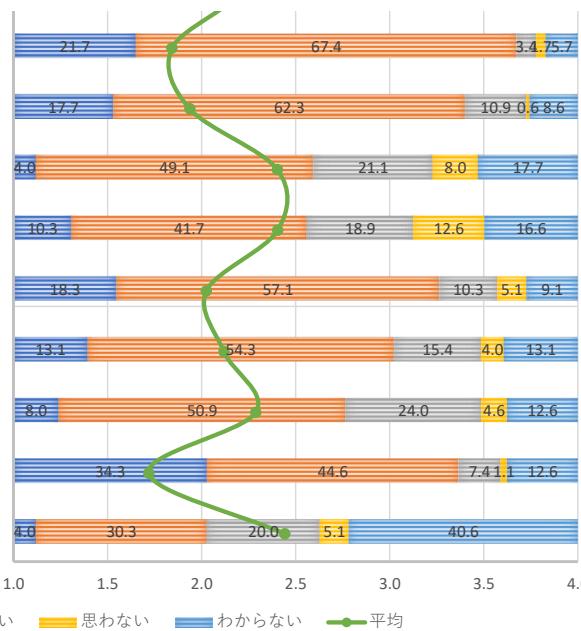
本校の子どもたちは、感染症の予防等健康に気を付けている。

子どもたちは、読書活動を楽しみ、読書に親しんでいる。

本校は英語や外国語、ＩＣＴなどの教育活動に取り組んでいる。

笤の子班活動は、子どもたちにとって有意義な活動であると思う。

本校は、学校外活動での「キャリア・未来デザイン教育」の推進をしている。



とても思う

思う

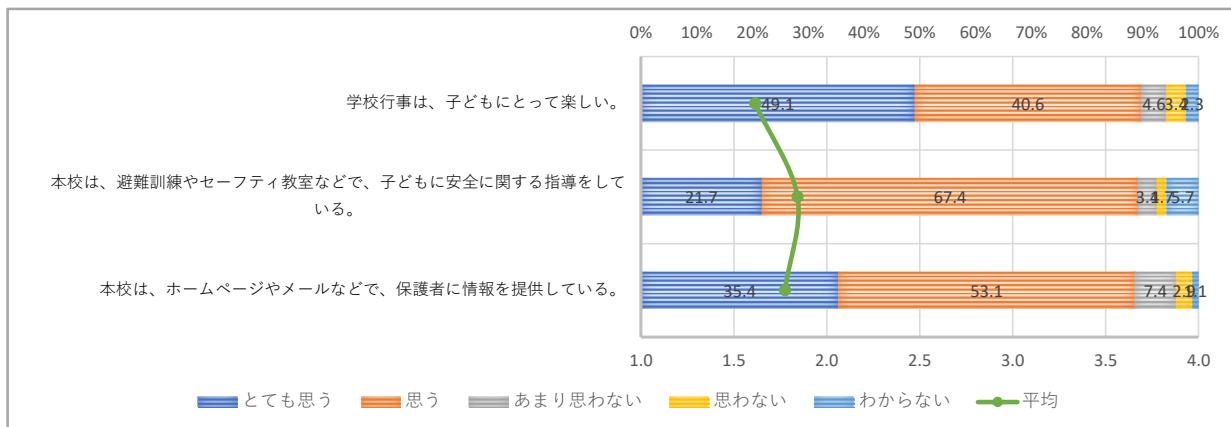
あまり思わない

思わない

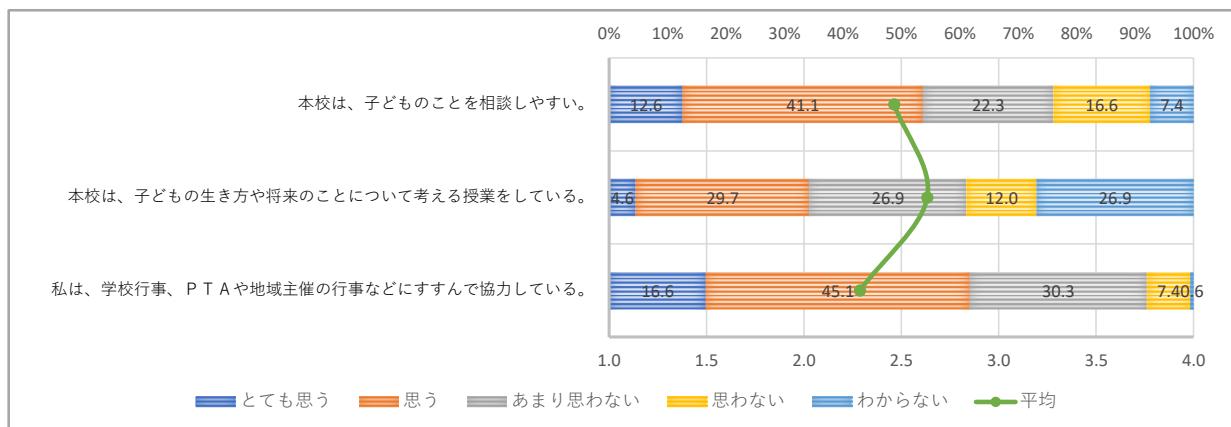
わからない

平均

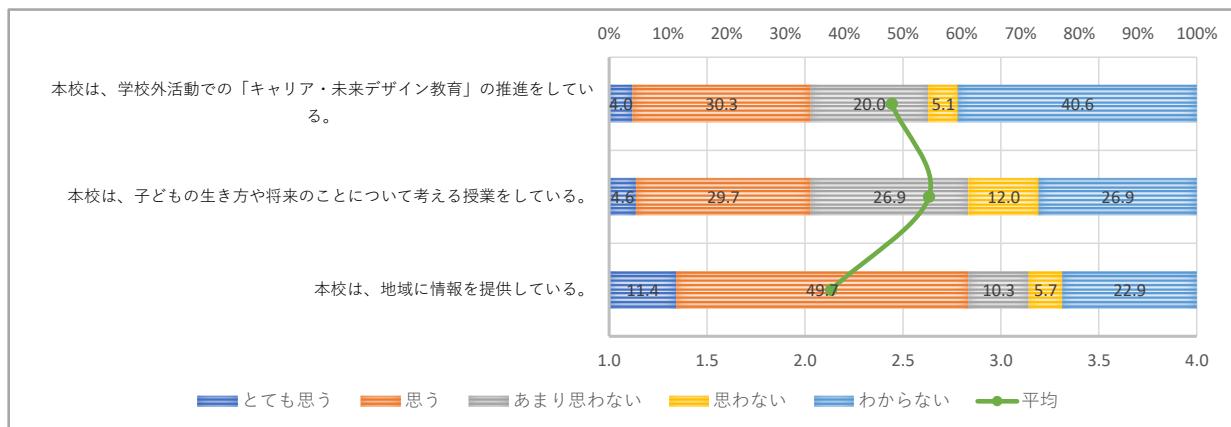
## 肯定的回答（「とても思う」「思う」の多かった項目）



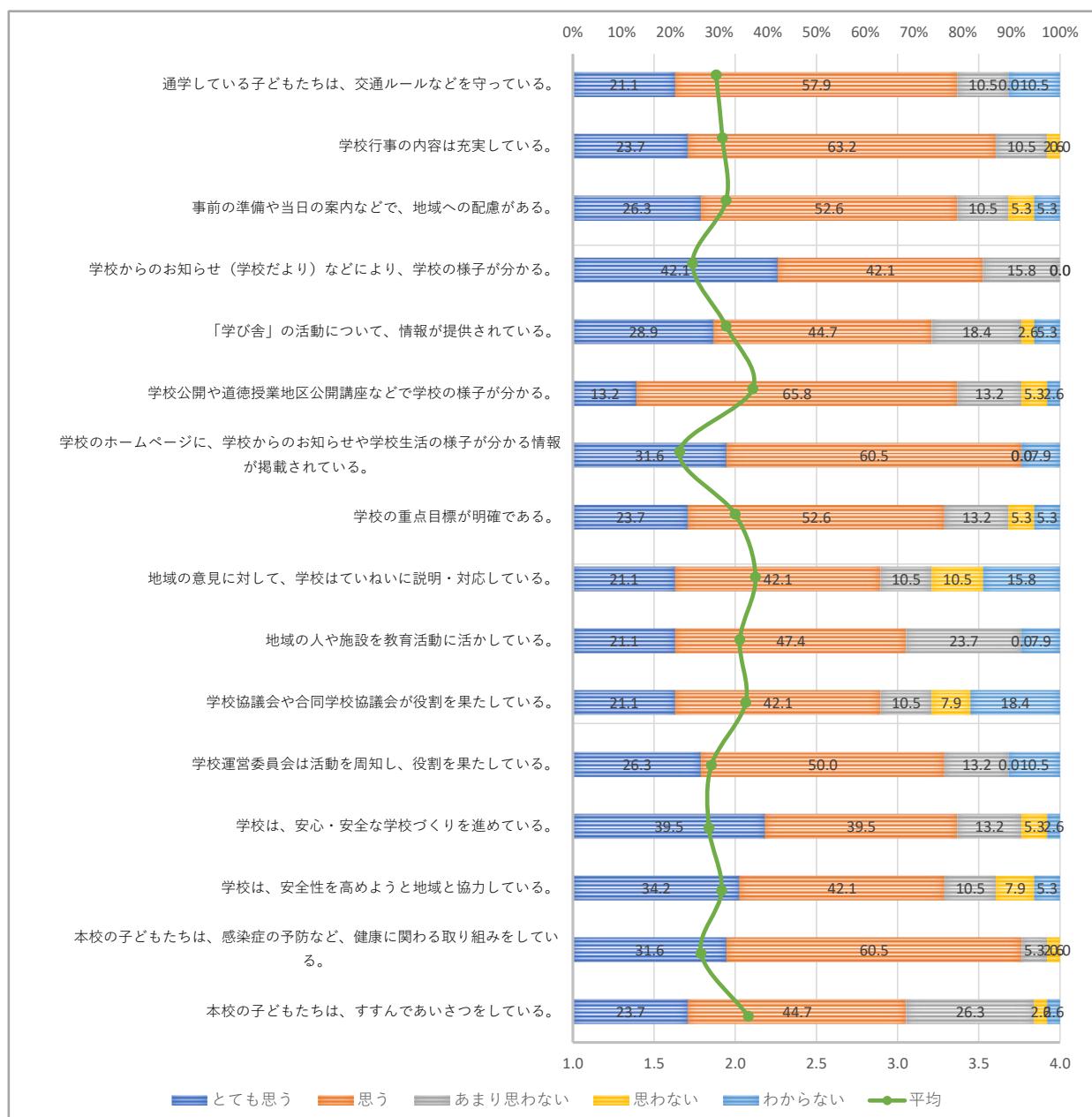
## 否定的回答（「あまり思わない」「思わない」の多かった項目）



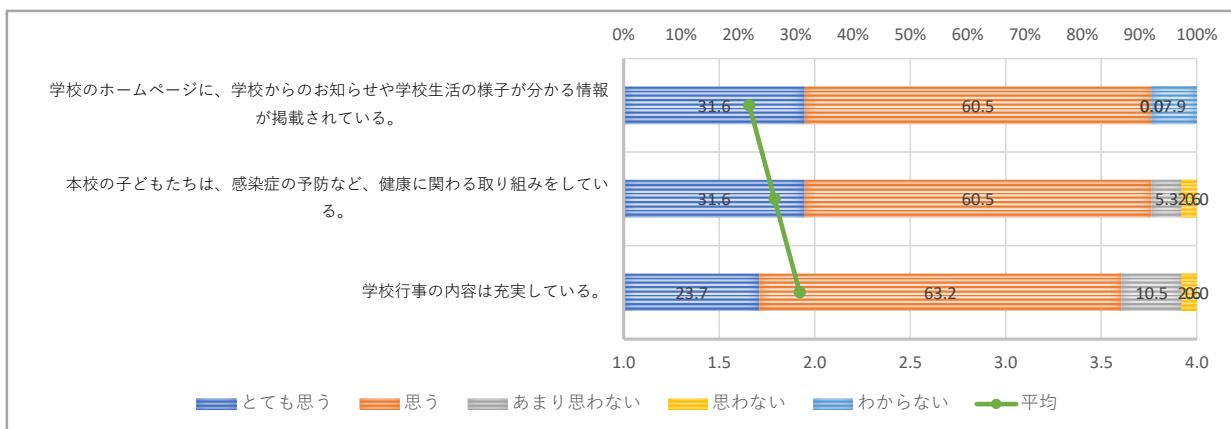
## 「わからない」という回答が多かった項目



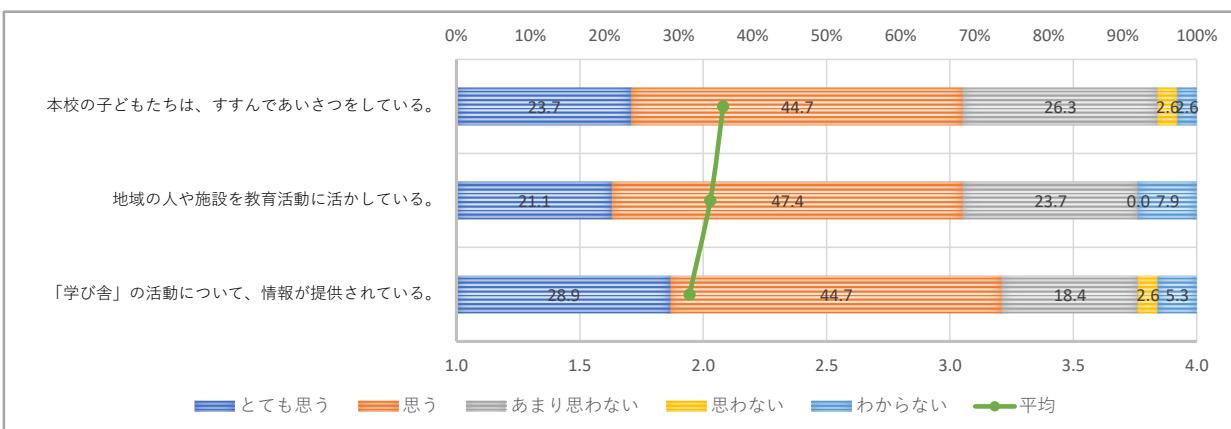
## 地域アンケートの回答分布と平均 ( 笹原 小学校 )



## 肯定的回答（「とても思う」「思う」の多かった項目）



## 否定的回答（「あまり思わない」「思わない」の多かった項目）



## 「わからない」という回答が多かった項目

